



会津大学 後援会だより

第 26 号

発行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）

発行日：平成 23 年 8 月 15 日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515（FAX0242-37-2526）

URL：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ

会津大学長
角山茂章

起き上がり「KOBOSHI」

就職氷河期と言われているが、スマートフォン向けのソフト開発を中心に、本学を取り巻く経済界は良い状況が続いている。また米国では、マイクロソフト、グーグル、アップルなど、IT関連の企業が過去最高益を上げたとの情報も伝わっている。国内では、企業の採用傾向は、今年の春より2割ほど増員すると予想されており、採用人数も増やす予定の企業が43業種の中で34業種と多く、特に理工系への採用意欲が強い。ただ、注

意すべきは求める人材がいなければ計画数に満たなくとも打ち切るとの姿勢を強めている企業が多いということだ。そこで、当然ながら重要になるのが、大学で何を如何に学んだかということになる。

本学は法人化されてから、来年春で丁度第一期の中期目標期間を終えるが、この間に、学部のカリキュラム改革、大学院の専攻課程の統合や新設を積極的に行ってきた。

学部カリキュラムの改訂では、学生の進路希望に合わせて、科目を柔軟に選択できるようにし、また常に進路指導の相談を行えるように履修アドバイザー制を導入した。科目の種類も、世界的に社会ニーズを調査し大学教育の方向性を提言している米国の学会 ACM の勧告に合わせて、従来のコンピュータサイエンスからソフトウェア工学や IT 応用分野へと幅広く学べるように拡充した。この仕組みにより多様化する社会のニーズに対応できる学問を修得できるようになり、入学時から卒業まで、履修アドバイザーと相談しながら将来の方向性を決めることが可能になった。

大学院では、従来の情報システム学専攻とコンピュータシステム学専攻を統合し、新たに「Leading-edge IT Specialists」のプログラムを教育する専攻を開始した。英語を共通言語として国際レベルの教育をし、最先端の情報技術を駆使できる専門家、いわゆる IT Specialist を育成する。

以上のような、教育体系は経済界から高く評価されており、学生諸君は、是非この仕組みにチャレンジして、将来の道を切り開いていただきたい。

一方、本学の学生は精神面での弱さが指摘される場合があるので、昨年度から「起き上がり KOBOSHI」プログラムを開始した。志望する分野で活躍する本学の卒業生や、また本学に関心のある企業に協力を頂き、社会に出たときの待っている仕事内容などをネット上で学ぶ。これにより、会津に伝わる、転んでもくじけない、起き上がり小法師のようにタフな精神を習得してもらうプログラムだ。

IT 分野は、現在、車などの分野よりも日本の経済に占める割合が大きい重要な分野だ。本学の学生が、益々社会で活躍することを心から期待している。



後援会会長 あいさつ

会津大学後援会会長
遠藤康幸

挨拶の前に、東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福を、衷心よりお悔やみ申し上げます。また、被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。

新学期も震災の影響により一ヶ月遅れてのスタートではありましたが、新入生も新しい生活にも慣れ、大学に通っていることと思います。

会津大学は、日本初のコンピュータ専門大学として開学され、国内では前例のない過半数が外国人教員で占められるという体制が出来上がり、現在でも4割ぐらゐの外国人教員がおり、

このような国際性が最大の特徴になっています。したがって IT 技術者を育成する大学としては、国内トップクラスの評価を得ており、毎年の就職率はほぼ100%を達成しております。

後援会としても、教育の拡充発展、学生の教育向上及び福利厚生等の援助を図ることを目的に毎年事業をしています。今年度の新規事業は就職活動バスの運行（首都圏での合同企業説明会へ参加）です。学生の就職への意識を高め、積極的な就職活動のきっかけとなる様、又経済的負担を軽減させるため行います。もう一つは就活カフェの開催です。内定している学部4年生、大学院2年生が就職活動をしている学生に経験やノウハウ等を伝える場を設けます。今年度この二つが加わり学生の支援をしてみたいです。

東日本大震災の影響で社会情勢も混沌としておりましたが、少しずつ明るい兆しへ向かっていると思います。今年は企業の求人も厳しいと聞いております。後援会として、大学側と連携を強くし、学生にとって、より充実した支援を進めてまいりますので、今後とも、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 23 年度会津大学後援会活動について

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しております。

平成 22 年度決算及び平成 23 年度事業計画・予算につきましては、5 月 6 日に開催しました平成 23 年度後援会総会において下記のとおり承認されました。

<平成 22 年度後援会決算>

(単位：円)

		決算額
収 入	会費	12,200,000
	雑収入	2,029
	バス利用料	239,000
	繰越金	3,787,226
	計	16,228,255
支 出	会議費	132,770
	事務費	442,892
	事業費	11,029,067
	学生課外活動助成費	7,000,000
	厚生及び進路対策費	3,201,457
	研修等助成事業費	287,610
	スキルアップ奨励事業費	540,000
記念事業積立金(次年度繰越)	500,000	
予備費	0	
計	12,104,729	
繰越金		4,123,526

<平成 23 年度後援会予算>

(単位：千円)

		予算額
収 入	会費	12,600
	雑収入	10
	バス利用料	250
	繰越金	4,123
	計	16,983
支 出	会議費	200
	事務費	500
	事業費	13,800
	学生課外活動助成費	7,000
	厚生及び進路対策費	5,800
	研修等助成事業費	400
	スキルアップ奨励事業費	600
記念事業積立金(次年度繰越)	500	
予備費	1,983	
計	16,983	

平成 23 年度会津大学後援会役員

役職	氏名	住所
名誉会長	角山茂章	会津大学長
会長	遠藤康幸	福島県耶麻郡北塩原村
副会長	佐藤正一	福島県南会津郡下郷町
〃	齋藤幸子	福島県福島市
監事	増子貴義	福島県郡山市
〃	中村典子	福島県会津若松市
委員	木伏幸藏	福島県会津若松市
〃	山口千代志	福島県耶麻郡西会津町
〃	伊藤俊也	福島県会津若松市
〃	加藤喜明	福島県いわき市
〃	長谷川賢治	福島県会津若松市
〃	遠藤久男	福島県大沼郡会津美里町
〃	上野善弘	福島県耶麻郡西会津町
〃	菅智子	福島県河沼郡会津坂下町
〃	三浦和紀	新潟県村上市
常任委員	長谷川哲也	会津大学事務局長

平成 23 年度会津大学後援会事業計画

(年月日)

(主な事業の概要)

平成 23 年 4 月 3 日	TOEIC テスト支援
平成 23 年 4 月～3 月	就職活動交通費補助
平成 23 年 5 月 6 日	後援会総会及び第 1 回後援会役員会
平成 23 年 5 月～8 月	朝食定期券の補助
平成 23 年 5 月～3 月	クラス活動支援
平成 23 年 6 月～7 月	情報処理技術者試験送迎バス運行
平成 23 年 8 月	後援会だより(第 26 号)発行
平成 23 年 8 月～9 月	学生会・学園祭実行委員会への助成
平成 23 年 10 月 8 日	第 2 回役員会
平成 23 年 10 月 8 日	会津大学報告会、修学相談会
	就職講演会
平成 23 年 10 月	情報処理技術者試験送迎バス運行
平成 23 年 10 月～2 月	就活カフェの開催
平成 23 年 12 月～3 月	就職活動バスの運行
平成 24 年 3 月	後援会だより(第 27 号)発行
平成 24 年 3 月	第 3 回役員会
平成 24 年 3 月	卒業記念パーティ

<朝食定期券補助事業>

学生の健全な食生活の維持の向上を目的に「朝食定期券」の販売を食堂と協力し購入費の一部を助成しています。通常 7,000 円前後の朝食定期券を 3,500 円で販売しています。2 か月累計(5～6 月)で計 74 枚の朝食定期券が販売されました。

授業前に学生が食堂にて朝食を摂って授業に出席しています。

[和食セット]



[洋食セット]



学内ニュース

希望を胸に ー学生自主卒業式ー

会津大学では震災の影響で中止となった学位記授与式に代わり、学位記の郵送または窓口での受け取りが決まっていたのですが、手渡しでの授与を希望する学生の呼びかけにより、学生主催の卒業式が開催されました。

3月22日(火)、午後1時から卒業式に集まったのは学部、大学院の卒業生260名中83名。会場の大講義室は卒業生と教職員、保護者で満員になりました。出席した全員の名前が読み上げられ、角山茂章学長が学部生代表の鈴木英里佳さん、大学院生代表の大田和寛さんに学位記を授与しました。



平成 23 年度 入 学 式

5月6日(金)、会津大学では平成23年度入学式が行われ、コンピュータ理工学部及び大学院コンピュータ理工学研究科に320名の新入生を迎えました。東日本大震災の影響で約1ヶ月遅れの入学式は晴天に恵まれ、この日を待ちわびた新入生や保護者、在校生で新緑のキャンパスが賑わいました。

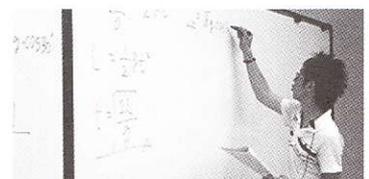
入学式では新入生全員の氏名が読み上げられ、角山茂章学長が入学許可を宣言し、「日本経済を牽引する情報産業の職場では、会津大学が得意とするITと英語力がそのまま活かせる。本学の学習環境を有効に活用し、「会津から世界へ」大きな夢を目指してほしい」と式辞を述べました。学部生代表の松本千央さん(南相馬出身)、大学院生代表の鈴木俊光さん(いわき出身)がそれぞれ宣誓を行い、入学式の後は恒例となった新入生全員での記念撮影が行われました。



創明寮入居開始 ～平成 23 年 5 月～

会津大学修学支援宿泊施設創明寮は、日本全国や世界各国から集まった学生たちの共同生活や施設の共同利用等を通して、社会性や協調性を身につけるとともに、修学意欲を向上させ、円滑な学生生活を支援することを目的として、平成23年5月より入居をスタートしました。

5月7日には、創明寮レジデントアシスタント(SRA)主催の歓迎会が開催され、スポーツを通して親睦を深めました。その他、学生主催による勉強会やボランティア活動参加など、創明寮を通して数々の交流が図られています。

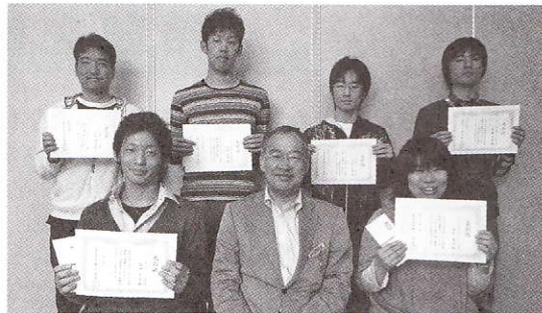


在学生表彰

平成 22 年度の成績優秀者に表彰状が贈られました。会津大学では GPA (Grade Point Average) による成績評価を行い、各学年においてその数値の高い者から 3 名が成績優秀者に選ばれました。

[受賞者一覧]

学 年	氏 名
2	澤井秀仁、勝田究吾、長谷川卓也
3	岩渕康平、常盤恭樹、伊藤悠哉
4	中村光典、佐藤洋平、田中飛鳥 (修士 1 年)



平成22年度進路結果について

	進路希望	決定者
就職		
民間企業	127	115
教員	4	4
公務員・団体等	6	6
起業・家業	0	0
合 計	137	125

	進路希望	決定者
進学		
本学大学院	62	62
他の大学院	5	5
海外の大学院	0	0
合 計	67	67

※平成 23 年 5 月 31 日現在

主な就職先

シンク (3)、JR 東日本情報システム (2)、ヤフー (2)

エヌシステム (2)、コーソル (2)、シグマ (2)、東邦情報システム (2)

JR 東日本、NEC ソフト、NTT データ東北、NTT ドコモ、京セラコミュニケーションシステム

サイバーエージェント、セガ、東邦銀行、福島キャノン、富士通テレコムネットワーク、楽天 (以上、各 1 名)

※ () 内は人数

会津大学の海外研修支援事業

会津大学では、平成 18 年度から海外研修支援事業を開始し、これまで合計 29 名の学部・大学院の学生 5 か国 10 大学で研修を行ってきました。この研修では、海外大学での授業聴講や研究活動を経験することができ、研修先の学生や教員との交流を通じて異文化への理解も深めています。今後も海外に興味のある学生を積極的に支援し、国際化・情報化社会で活躍できる創造性豊かなグローバル人材を育成に努めます。

平成 22 年度研修実績

	研修先	研修期間	研修学生(派遣時)
海外中期派遣	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 22 年 11 月 24 日～平成 23 年 3 月 8 日 (3ヵ月間)	数馬 武信(博士前期課程 1 年)
海外中期派遣	ローズハルマン工科大学(米国)	平成 23 年 3 月 6 日～3 月 25 日 (3 週間)	橋間 浩嗣 (学部 4 年) 加治 良亮 (学部 3 年) 高橋 秀成 (学部 1 年) 高木 駿 (学部 1 年)



加治 良亮さん (写真中)
(ローズハルマン工科大学)

RHIT では、学生が積極的に意見を出し、教授も生徒一人ひとりの名前を覚えており、とても良い雰囲気でした。また、授業でわからない部分についてルームメイトが優しく教えてくれました。この研修を通して、グローバルに活躍するためには、英語は必要不可欠であると感じました。今後、勉強や研究などで様々な困難に立ち向かう中で、今回の経験を活かして努力していきたいと思ひます。



高橋 秀成さん (写真下)
(ローズハルマン工科大学)

海外研修を通して、専門分野だけでなく、生活や価値観の違いなど様々なことを学びました。また、物事に対してグローバルな視点を持つことはとても重要だと実感しました。日本文化である空手を実演することにより、メディアを通して感受しているステレオタイプとの違いを共有し、積極的に行動することは自らを成長させると実感しました。この経験を活かして、世界中に友達ネットワークを構築したいと思ひます。

学生の活動紹介

～このコーナーは、学生が自分たちで書きました～

学生会長から

こんにちは。会津大学学生会長の高橋です。

私たち学生会執行部は、学生の大学生活を充実させるため日々活動しています。この場を借りて、学生会執行部の活動について紹介させていただきます。

学生会主催イベントの報告

新入生歓迎会

新入生の皆様に早く会津大学に慣れてもらうために、サークル紹介を兼ねた立食パーティーを、毎年開催しています。今年も前年度と同様に土曜日に開催し、400人ほどの新入生と在学生に参加して頂くことができました。今年は地震の影響により、新入生宿泊オリエンテーションがなくなり、新入生にとっては新しい人間関係を構築することが難しい年でしたが、今回のイベントは新入生の交流の場になったと思います。

新規イベント、プロジェクト

会津大学の学生活動を活発にする為に、学生会執行部が今年から始めた新規イベント、新規プロジェクトを紹介したいと思います。

●フリーマーケット

年度末に開催したいと考えています。卒業する先輩方から、いらなくなった家具、家電、教科書等を後輩に販売する機会をつくらうというエコな企画です。フリーマーケットと並行してオークションも開催したいと思います。

●地域交流プロジェクト

会津大生と地域との交流を活性化するために立ち上げたプロジェクトです。目標は「会津大生が地域との交流の中で、多くの事を学べる環境を作ること」です。7月現在の進捗は立ち上げたばかりということもあり、地域の情報収集に専念していますが、次第に目標に近づきたいと思います。最終的には地域の皆様に「会津大学があって良かった」と思っただけのような会津大学を目指したいです。

●他大学訪問プロジェクト

会津大生と他大学生との交流を活性化するために立ち上げたプロジェクトです。目標は「会津大生が他大学の学生と交流することにより、互いに多くのいい経験を積むことができる環境を作ること」です。7月現在の進捗は、交流する大学の下調べをしているところです。後々は、他大学と合同で大きなイベントを開き、福島県の大学同士での学生ネットワークを構築したいです。

学園祭実行委員会

私たち学園祭実行委員会は10月8日(土)、9日(日)に開催する蒼翔祭に向けて準備を行っています。

今回は仕事内容について紹介したいと思います。

☆各課の仕事紹介☆

【企画部】

- ・企画の立案
- ・企画の実行

【広報部】

- ・外部報道社への広報依頼
- ・パンフレットやポスターづくり

【サークル対応部】

- ・模擬店出店団体、サークルの総括
- ・電気、ガス会社との交渉

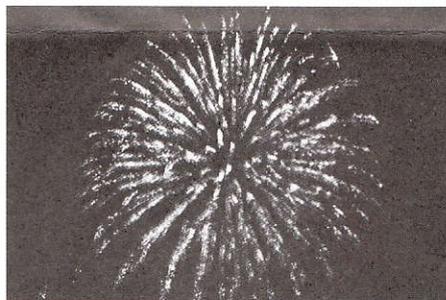
【装飾部】

- ・案内看板の製作
- ・当日、校内を彩る装飾作り

☆企画☆

- 豪華景品が当たる大抽選会
- 会津の夜空を彩る打ち上げ花火
- 新しい食の発見、B級グルメ
- サークルが行う個性的で多様な模擬店
- 音楽系サークル・演劇部の素敵な公演会

その他、目白押し!!



サークル紹介

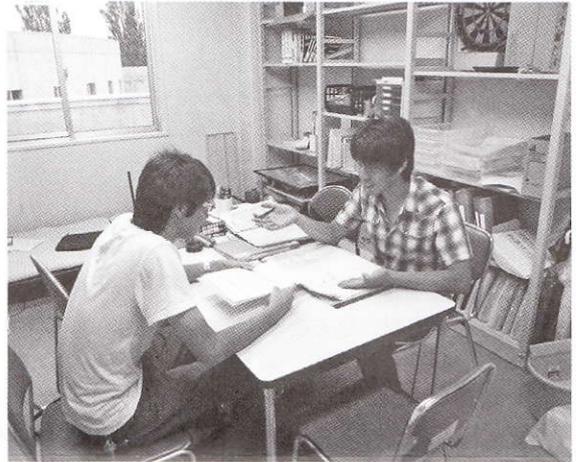
サークル自治会

私たちは学内のサークルが円滑に活動することを目標として、数サークルの代表者によって構成されています。

現在は現役員 4 名と補佐数名で構成され、皆積極的に活動しています。

具体的な活動内容は、後援会の皆様方からの援助をもとに予算の分配、新サークル設立の承認や、体育会系サークル対象の救命活動講習会など多岐にわたっています。

これらの活動はサークルや自治会の要望によって行われています。今後も全サークルが公平に利益を受け、円滑に活動できるよう努力していきますので、後援会の皆様方にはこれからも見守っていただければと思います。



CUO

CUO の正式名称は「Comfort Utopian Orchestra」、つまりは「お気楽極楽楽団」。要するに何でもありの軽音楽系サークルです。

ジャズをやっているバンドがあるかと思えば激しいロックを聴かせてくれるバンドもあったり、ゲーム音楽をやっちゃったり、変な楽器を持ち出して演奏してみたり…それが「音楽」であればあとはその人のやる気次第。オリジナル曲を演奏している人たちもいたりします。

「楽しそうだけど、楽器の経験もないし……」と思っている人もいるかと思いますが、心配しなくても大丈夫です。

現在活動中の部員も半分くらいは大学に入ってから楽器を始めていますが、みんな楽しく演奏活動をしていますよ。具体的なフォローとしては毎年春に「ごちゃ混ぜバンド演奏会」というイベントで新入生のバンド初体験をサポートしています。ですから気後れせずに声をかけてくださいね。



トライアスロン部

こんにちは、会津大学トライアスロン部です。私たちは、月、金にラン、火、木に学内の温水プールでスイム、土曜日にバイクの練習を行っています。週5で練習を行っているのも、とても参加しやすいです。部の方針は「楽しむ」ことであり、厳しい練習を行い、大会で結果を残すことが全てではありません。ダイエット目的でやっている人もいれば、インカレの本戦を目指す本格派もいます。初めは競技用の自転車に乗りたい!程度の気持ちで参加してもらいたいです。年数回の大会の他にイベントも充実しており、合宿やバスを貸し切って遊園地に行ったり、体育館でスポーツ大会を行ったりしています。

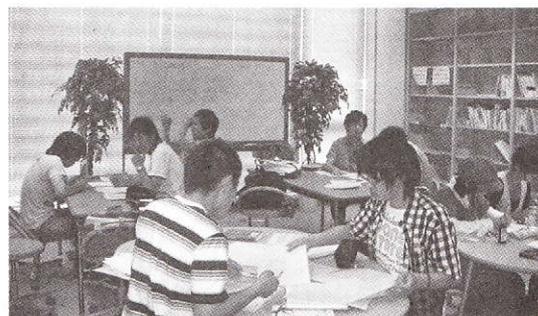
もちろん、部員全員が大学から競技を初めました。

詳しくはホームページをご覧ください!



修学支援室 Office for Learning Support

修学支援室は、学生が自由に勉強できる場所として研究棟に設けられています。学生は、講義・演習だけでは理解できなかったことを、常時待機している修学支援員や、大学院生・学部生による TA・SA に質問することができます。その他にも、ワークステーションの使用や参考図書の閲覧など、様々な目的のために利用できます。来室者数は年々増大しており、今年度も多くの学生が勉強の場として修学支援室を利用しています。



来室のべ学生数

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均
2009	790	522	709	674	58	54	506	520	350	433	105	21	4,742	395
2010	671	728	691	728	177	63	530	573	394	552	157	19	5,283	440
2011	12	777	767	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,556	519

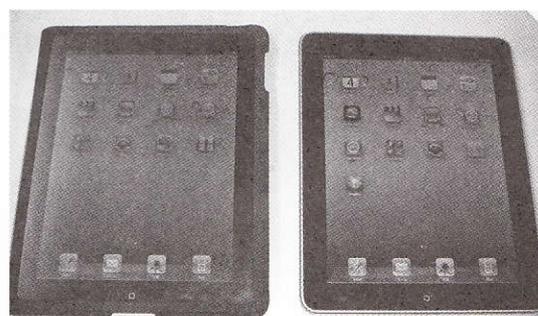
数学補講

修学支援室では、5月から新入生向けに、数学の補講を行っています。特に高校時代に数学Ⅲ・Cを履修していないか、もしくは苦手としている学生を対象としています。参加学生は、事前に提示された問題を解き、講義の時間にその問題の解説を聞いて、微積分などの分野の理解を深めています。講義中は、学生が真剣に取り組む姿が印象的です。この補講は、8月まで行われます。



iPadの導入

本年度より、修学支援室にアップル社製のタブレット型コンピュータ iPad が2台導入されました。修学支援室の TA・SA は学生からの質問に対応する際にこの iPad を利用しています。修学支援室は無線 LAN 環境が整っているので、iPad を利用することで瞬時にインターネットに接続でき、修学支援に必要な情報を即座に取得することができます。また、TA・SA に限らず学生が直接 iPad を使うこともできます。



修学支援室

電話 0242-37-2758 FAX 0242-37-2747

E-mail ofls@u-aizu.ac.jp

URL <http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport.html>

学生相談室 「ほどよく頑張る」

カウンセラー 林幸子／中田佑典 TEL 0242-37-2610 e-mail counseling@u-aizu.ac.jp

ひと月遅れでスタートした今年の新学期。慣れない大学生活で疲れが溜まり気味の1年生も通常は5月の連休で一息つけるのですが、今年はそのような機会がないまま学期は後半に入りました。例年にない蒸し暑さも加わり、いつもは元気な若者たちですが、中には疲労の色が出てくる方もいるようです。

相談室との予約の時間にピタリと見える方、「少し時間ありますか?」と、入学して初めて訪れる大学院生、「一度休んで〈授業を〉その後あまり出てなくて・・・単位はどうなるんですか?」と不安そうに話し出す1年生、遠方のご家族から「どうも通学していないらしいのですが・・・」という電話が入るなど、今日も相談室は、様々なニーズに応える場になっています。

理系の会津大は、演習つき3時間授業や課題が毎回出る授業も多く、締め切りに間に合わそうと睡眠時間を切り詰めて課題に取り組む学生も珍しくありません。特に一年生で、高校まで上位の成績を保ってきた学生の中に、大学に入ってからもそれまでと同様、全授業を自分なりにきちんと理解し課題もしっかりこなそうとし、それができない現実に直面して焦ったり自信喪失気味になる方が時々います。大学では、コンピューターの専門科目に加え、数学・物理、英語、そして人文系科目と多分野にわたる授業が初年度から展開されています。高校以上に幅広く各々が深い内容の授業の全てをきちんと理解し、課題提出や試験に万全を期そうとするには負荷が大きく、興味や関心に合わせて力の入れ具合を加減し、場合によっては特定の科目の履修を翌年にまわすなどの対策が必要になります。

ところが、始めたものは最後までやり通そうと、全授業に(一人で)メ切りぎりまで取り組む学生さんがいて、そのような方の中に、それまで覚えたことのない体調不安を訴える方がいます。中には、課外活動やサークル・バイトと、学業外にも時間とエネルギーをつかい睡眠時間を削っていて、「これまでのように動けない・やる気が起きない・どうも変で・・・」と言う方にお会いすることもあります。オーバーワークで、疲れが出て不思議はないのですが、それまで表立った疲れや行き詰りを感じることなくやれてきただけに、自分の現状が理解できず戸惑いを覚えるようです。

早々と諦めるのも問題ですが、頑張りすぎは知らない間に心身を酷使しますので、気がついた時には健康面への影響が顕著になっています。頑張り過ぎが自覚されるのには時間がかかることが多いのですが、一度わかるとほっとした表情をされる方が多く、もともと努力家ですので、その後は順調に就職活動に励み卒業されていく方が多いようです。「頑張り過ぎずに頑張ろう、会津大生!」

保健室 震災対応特別セミナー：身を守るための防災・減災知識プログラム「応急処置の基礎知識」

保健師 阿部さえ子 TEL0242-37-2515 (学生課) nurse@u-aizu.ac.jp

ご承知のとおり、福島県は東日本大震災により、地震被害を受けています。今回の震災で、大学の建物には大きな被害はありませんでしたが、大学敷地内には地震の後が残っています。また、会津では地震の揺れは小さく、回数も少なくなっていますが、地震が続いています。

そこで、学生の皆さんが、自分自身で身を守るために、考える力を身につける震災対応特別セミナーの一環として、7月23日(土)に福島県体育協会認定アスレティックトレーナーの相原真氏を講師にお招きし、「応急処置の基礎知識ならびに処置法の実践」の講習会を開催しました。

学生39名、教員3名、保健室担当看護師1名の計43名が、アイスバック作りとRICE処置用テーピング、市販のゴミ袋を活用する三角巾作りと固定方、ダンボールを使った固定法や外傷鑑別法など、緊急時に衛生材料が手に入らない環境でも、身近な材料を使つての固定方をペアになり、実際に行いました。



編集 後記

編集担当です。学生の大学での活動、大学のニュースなどを中心に編集するように心掛けました。秋には、学生主催の蒼翔祭(学園祭)が10月8日(土)9日(日)の2日間に亘り開催しますので、ぜひ御来場ください。

また、蒼翔祭に合わせて後援会では、10月8日(土)に大学報告会、就職講演会、修学相談会を実施し致しますのでぜひ御参加ください。